

令和6年8月発行 No.71



いわくに市議会だより

シー See議会



目次 (主な内容)

- ▶ 定例会ハイライト 2
- ▶ 議案と審議結果 3
- ▶ 委員会審査報告 4
- ▶ 市政を聞く(一般質問) 6
- ▶ 中山間地域振興施策調査特別委員会
視察報告と意見交換会 12
- ▶ 経済常任委員会と商工会議所の意見交換会 ... 13
- ▶ 議会運営委員会の視察受入れ 13
- ▶ 常任委員会視察報告 14
- ▶ 表紙写真の公募 16

「朝焼けの空の蓮の花」

撮影場所：尾津町

撮影者：匿名希望

紙面のQRコードをスマートフォン
などで読み込んでいただくと、より
詳細な内容を御覧いただけます

6月 定例会 ハイライト



● 子育て支援の経費を計上した補正予算など 議案26件を可決

6月定例会は、6月4日に招集され、6月27日までの24日間の会期で開催されました。定例会の初日には、諸般の報告1件、監査報告5件、報告10件、議案23件が上程されました。そのうち、報告1件及び議案9件を議決しました。

一般質問は、6月14日から18日までの3日間（休日を除く）で、18人の議員が登壇して行い、18日には、2議案が新たに上程されました。各常任委員会は21日と24日の2日間で開かれました。

最終日には、各委員会に付託された議案16件を原案どおり可決するとともに、当日上程された議案1件を可決し、閉会しました。

【6月定例会の日程】

月 日	内 容
6月 4日	本会議初日
6月 14日	一般質問
6月 17日	一般質問
6月 18日	一般質問
6月 21日	経済常任委員会 教育民生常任委員会
6月 24日	建設常任委員会 総務常任委員会
6月 27日	本会議最終日

● 「がけ地・林地の土砂災害対策」の充実を市長に提言

建設常任委員会・経済常任委員会が「がけ地・林地の土砂災害対策」の共同提言書を議長に提出し、市議会として市長に提言しました

急傾斜地及び林地の崩壊から、市民の生命及び財産の保護をはかるための提言書（要約）

本市では、山口県の補助事業を活用し、がけ地及び林地の土砂災害対策として、予防及び復旧のための補助事業を実施していますが、いずれの事業も、採択基準の一つとして、「人家が複数あること」が要件となっています。

昨今の土砂災害の頻発化を踏まえ、市におかれては、「人家が1戸」でも補助の対象とし、取りこぼしのない支援体制を整備していただくよう、建設常任委員会及び経済常任委員会の調査結果を基に、以下のとおり提言します。

一 がけ地の土砂災害対策に係る提言

- 1 山口県に対し、がけ地の土砂災害対策事業の採択基準を見直し、「保全人家戸数が1戸」から補助の対象となるように要件を緩和するよう、市として要望してください。
- 2 がけ地の土砂災害対策として、岩国市において対象要件を緩和した独自の支援制度を設けてください。

二 林地の土砂災害対策に係る提言

- 1 山口県に対し、治山事業の採択基準の一つである「人家2戸以上」を「人家1戸以上」に要件を緩和するよう、市として要望してください。
- 2 治山事業として、本市において対象要件を緩和した独自の支援制度を設けてください。



議案と審議結果

【全会一致で可決した議案等】

▼報告

令和5年度岩国市一般会計予算繰越明許費の繰越しの報告について
令和5年度岩国市水道事業会計予算継続費の繰越しの報告について
令和5年度岩国市水道事業会計予算の予算繰越しの報告について
令和5年度岩国市病院事業会計予算継続費の繰越しの報告について
令和5年度岩国市下水道事業会計予算の予算繰越しの報告について
岩国市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
住民ホールにおける事故に関する専決処分の報告について
公用車の事故に関する専決処分の報告について(3件)

▼議案

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第1号)
岩国市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき、議会の同意を得るについて(6件)
岩国市公平委員会の委員の選任につき、議会の同意を得るについて
岩国市教育委員会の委員の任命につき、議会の同意を得るについて(2件)
岩国市税条例の一部を改正する条例
岩国市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
岩国市一般廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例
岩国市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
岩国市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
岩国市地域包括支援センターの事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
岩国市保育園条例の一部を改正する条例
岩国市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
岩国市営住宅条例の一部を改正する条例
岩国市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
消防ポンプ自動車(岩国東方面隊麻里布分団第2部)の買入れについて
消防ポンプ自動車(錦方面隊第1分団第5部)の買入れについて
山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について
岩国市中央公民館新築工事請負契約の締結について
岩国市中央公民館新築機械設備工事請負契約の締結について

【賛否が分かれた議案等】

※議決結果 ○=可決、認定、承認、同意、採択 ×=否決、不認定、不承認、不同意、不採択
※議員の賛否 ○=賛成 ×=反対 ※議長(桑原敏幸)は採決に加わりません。
※会派名の略称は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、市民=市民クラブ・草の根、声=市民の声をきく会、リベ=リベラル岩国、嵐=岩国青嵐会、日本国民党岩国=国

件名	議決結果	憲政会					公明党議員団		志政いわくに		共産党		市政改革	同志会	市民	声	リベ	嵐	国									
		植野正則	片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	奥江徳成	桑田勝弘	中村豊	野本真由美	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	小川安士	長岡辰久	松田一志	広中信夫	細見正行	石原真	山本辰哉	重岡邦昭	広中英明	中村恒友	姫野敦子	川口隆之
岩国市教育委員会の教育長の任命につき、議会の同意を得るについて	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

経済

議案第66号

岩国市地方活力向上地域における固定資産税の
不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

審査の概要

関係省令の改正に伴う規定の整備を行うため、本条例が提案され、審査を行った。

問 本条例の適用実績について問う。

答 主に本社機能の移転を対象とした本条例を平成29年に制定して以降、本条例の適用を受けた企業が本市に進出した実績はないが、企業の進出に当たっては、本制度を含む様々な支援制度を提示し、最も有利な制度の紹介を行っている。



問 本条例の意義やメリットはどのように考えているのか。

答 本条例による不均一課税は、固定資産税の納付が不要であることから、事業者にとっては、操業開始直後の資金繰りに余裕を持つことができるというメリットがある。また、市としても、不均一課税による減収分は、国から地方交付税による措置があることから、財政負担も少なく、双方にとってメリットがある制度である。

教育民生

議案第49号

令和6年度岩国市一般会計補正予算〔所管分〕



審査の概要

提案された予算のうち、民生費においては、第2子以降のゼロ歳から2歳までの園児に係る保育料を無償化するために必要となる経費や、保育園等において、保育士を追加で配置するための経費の補助などの審査を行った。

問 第2子以降のゼロ歳児から2歳児までの保育料無償化の開始時期について問う。

答 令和6年9月から開始となる。

問 9月から本当に入園できるのか、不安に思っている保護者もいると聞くが事前の相談は受け付けているのか。また、希望する園に入園できなかった場合、どのように対応するのか。

答 事前の相談も受け付けている。また、希望する園が定員に達している場合には、近隣の園を紹介する。

問 入園希望者の増加が見込まれる中、不足する保育士の確保対策について問う。

答 保育士加配事業費補助金等を有効に活用することで確保していきたい。

要 無償化になれば、入園できた家庭と入園できなかった家庭に格差が生じるため、希望する家庭が入園できるよう、保育士の確保も含めて一層努力していただきたい。



常任委員会では、付託された議案などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告します。本ページでは、審査報告のうち、特に市民の皆様にお伝えしたい審査の経過を抜粋して御紹介します。

建設

議案第61号 岩国市一般廃棄物処理施設設置条例の一部を 改正する条例等3件



審査の概要

岩国市真水苑の廃止や市営住宅の用途廃止に伴う条例改正のほか、関係政令等の施行に伴う規定の整備を行うために提案された条例の審査を行った。

問 真水苑の廃止に伴う解体工事の概要について問う。

答 解体に係る事務は岩国市が行うことになっている。基金の積立ての関係などから令和10年度以降の解体予定である。

要 工事の発注に当たって、市内事業者の受注機会の確保が一番優先されるべきであり、本市の産業の振興を図っていただきたい。



問 市営住宅の用途廃止をする周東沖原団地の解体後の跡地利用について問う。

答 解体後の土地利用については、集会所の建て替えを含む整備計画がある。

問 整備後の残りの土地の民間売却はあり得るのか。

答 残りの土地の活用を検討する中で、民間への売却もあり得ると考えている。

総務

議案第49号 令和6年度岩国市一般会計補正予算(所管分)等8件



審査の概要

提案された一般会計補正予算をはじめ、市税等の条例改正、消防ポンプ自動車の買入れや請願のほか、岩国市中央公民館のリニューアルに伴う工事に係る請負契約を締結することについての審査を行った。

問 中央公民館の新築工事については、前回の入札の準備段階で、設計書の積算内容の一部に修正が必要ことが判明したことにより、入札が中止となっているが、今回の契約における修正内容について問う。

答 前回の積算において、くいが残土処理に係る工事費約1,300万円の計上漏れと、OAフロアに係る工事費約250万円の過大積算があったため、これらの修正

を行った。中央公民館を早期に再開して、住民の皆様にご利用いただけるよう進めていたところであるが、今後においては、しっかりと内容の確認を行いながら執行していきたいと考えている。

結果 総務常任委員会に付託された7議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決した。請願については、引き続き審査すべきものと決した。

代表質問

※会派（構成員3人以上）を代表して行う質問のこと



公明党議員団
中村 豊 議員



交通マナーを守り、自転車の安全利用を！

問 自転車安全利用のルールブック作成を。

答 作成を含め、効果的な方法を検討していく。

問 交通事故減少に向けて自転車マナーの向上を図り、安全意識を高める上で安全利用のためのルールブックを作成し、幅広く意識啓発を促すべきと考えるが、ルールブック作成についての考

えを問う。

答 自転車利用者が交通ルールを守り、安全で適正な利用を促進するため、自転車利用者に対して、交通ルールの遵守や自転車乗車用ヘルメットの着用の重要性、自転車損害賠償責任保険へ加入することでのリスク軽減などを盛り込んだ、ルールブックの作成を含め、市民課前モニターでの放映など、より効果的な周知方法を検討していく。



岩国は、訪問介護報酬改定に耐えられるのか

問 各地から介護できなくなると抗議の声が上がり、研究者も「介護保険は崩壊する」と指摘している。新潟県では94%の訪問介護事業所は改定に納得せず、4分の1の事業所は「事業継続は困難」と回答した。新聞の世論調査では、回答者の8割が医療・介護部門の人手不足に不安を感じている。今後増える認知症患者の家族など、働きながら家族介護する人は300万人、経済損失は9兆円と政府は推計し、今後ヘルパー確保が難しくなる。移動時間が長く効率が悪い地域は赤字でも必死に活動し、介護保険を支えていることを隠して訪

問介護報酬を下げた。赤字事業所は約4割、12,600か所。市内の訪問介護事業所にどんな影響を及ぼすのか。

答 市内の実情把握、意見交換、対策研究で、訪問介護の安定運営を目指す。介護保険制度全体でも、適切な介護サービス提供、人材確保や事業所維持、介護予防など、市の独自施策や国への要望で、介護保険の充実に努める。



日本共産党市議員
小川安士 議員



憲政会
貴船 斉 議員



岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業

問 本事業とにぎわい創出事業の進捗について。

答 本事業は、岩国駅前南地区市街地再開発組合が地上20階建

での再開発ビルを令和10年の完成を目指して進めている。令和7年4月に区域内の現在の建物の解体を始め、同10月に再開発ビルを着工する予定。同ビルは1階から3階に商業、業務施設、4階以上に約130

戸の共同住宅が、併設の4階建ての駐車場は約250台が予定されており、令和10年9月に完成の見込み。岩国市としては3階と4階の一部に図書館機能を核とした様々なスペースを配置した「にぎわい創出施設」の整備を計画している。今後、再開発組合と連携して一体的・総合的な施設整備を進め、令和10年度の供用開始を目指す。

▶ **その他の質問** ————
・空家問題について





志政いわくに
矢野匡亮 議員



士が不足し、バスの減便やタクシーが配車できないなどの問題も発生している。本市では、こうした課題に対して、一部地域で乗合タクシー（よべるん）の実施や、第2種運転免許取得費用の助成、交

路線バスの減便やタクシー不足について

問 本市地域公共交通への取組について問う。

答 昨今では、本市のみならず、全国的にバス・タクシーの運転

通事業者におけるデジタル化の取組に対する補助金を交付する制度を今年度から実施している。今後については、一般ドライバーが運転する自家用車に利用者が相乗りするライドシェアといった、新しい運行形態も含め、それぞれの地域の実情に応じた地域公共交通について、市民の皆様のお声をしっかりと聞きながら検討する。



一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと

玖珂総合公園の人工芝グラウンドについて

問 玖珂総合公園には多目的に使われる人工芝グラウンドがあり、ホッケー競技においては、ここを拠点に育ったオリンピックや第一線で活躍する選手が巣立っている。人工芝グラウンドは相当年月が経過し経年劣化による芝の張り替えの時期にきている。人工芝グラウンドは全国大会や中国大会の開催規格に合う人工芝への張り替えがホッケー関係者からも再三要望されている。調査・研究も大切だが、張り替えの結論を出す目標年次について伺う。

答 人工芝グラウンドについては、ホッケーやサッカーをはじめとしたスポーツ競技の定期的な練

習や公式戦、さらには大規模大会の開催まで、多用途に利用できるグラウンドとして、年間2万人を超える方に利用されている。平成22年6月の供用開始から、14年が経過するとともに、利用頻度も高いことから、経年劣化による人工芝の張り替えについて、どういった芝が団体にとっていいのか与えられた市長の任期の中で方向性を示していく。



憲政会
植野正則 議員



市民の声をきく会
中村恒友 議員



行うことによる建造物保存は喜ばしい。改修の経緯を伺うとともに、改修を機に岩国高校記念館の看板を分かり易くしていただきたい。

答 戦後、岩国高校の体育館として利用、同校の移転に伴い内部改修を経て、昭和45年、岩国高

景観重要建造物、岩国高校記念館について

問 改修総事業費およそ5億3,000万円を見込んでいることに驚いた。令和4年7月26日、景観重要建造物の指定を受け、改修

校記念館として、また、横山自治会館として無償貸与され併用利用されている。このたび耐震改修及びリニューアル工事を実施し、歴史的、文化的な建造物としての価値を保存しながら住民が使いやすい施設として工事を進めたい。





日本国民党岩国
石本 崇 議員



ファーム事業について、先般の市民団体との協議を踏まえた市の考えを問う。

答 計画地が条例で定める抑制区域に当たることや土地所有者の立場として、計画地内の市が保有する用地を事業者の使用させることは困難。

市有地使用は困難であり事業者の対応は遺憾

問 岩国市、周南市、島根県吉賀町の境界部で計画されている(現在見直し中)大規模風力発電事業(仮称)西中国ウインド

問 これは事実上の反対表明だ。計画の見直し発表後、相当な期間、何の説明もなく住民は不安になっている。このような事業者の対応はどうか。

答 (市長から)見通しが立っていないと推察するが、そうであったとしても、何らかのやり取りはあつてしかるべきだと思う。誠実さに欠けていると思っている。

岩国市民憲章
錦帯橋に象徴される美しいまち岩国
わたしたちは この地を愛し
ふるさとが育てた偉人に学び 教養を高め
誇れる岩国を築き 引き継ぐために この憲章を定めます

大切にしたいもの
それは みんなの夢 みんなの命

守りたいもの
それは 豊かで美しい自然

伝えたいもの
それは 歴史や伝統 文化の薫り

広げたいもの
それは 世代や地域を超えた人の和

創りたいもの
それは 岩国の輝かしい未来

授かった子を安心して産める環境を！

問 産婦人科医不足の対策及び分娩施設の今後の取組について問う。

答 産科医確保や分娩施設の存続の重要性は十分認識しており、今後も市内の医療機関と協議を重ね、実効性のある施策を検討する。

問 産科医確保も重要だが、分娩できる助産院を新設することも一つの方法だと思う。岩国市の助産院のビジョンについて問う。

答 議員御提案の助産院の新設については、課題解決に向けた取組の一つと考えられることから、他の自治体における先進事例を参考にしながら調査・研究を

していきたい。

問 現時点における妊娠中やこれからお子さんを授かる方への助成や支援について問う。

答 出産・子育て応援給付金として合計10万円の給付や妊婦健康診査14回分の受診費用、多胎妊婦の健康診査5回分の費用を助成。また、妊産婦アクセス支援事業として、最寄りの分娩施設までの移動時間が約60分以上かかる方に対し、移動費等の助成を行っている。



岩国青嵐会
川口隆之 議員



市民クラブ・草の根
広中英明 議員



も募集を実施してほしいとの声があるがいかがか。

答 議員御指摘の「がんばる農業経営体支援事業費補助金」は本年度より始めた市独自の農業者支援事業で機械購入や施設整備等の事業費の3分

がんばる農業経営体支援事業費補助金の募集について

問 農業支援の「がんばる農業経営体支援事業費補助金」が農業をされている方から大変好評である。しかし、春だけでなく秋に

の1、上限20万円まで補助する。当初予算800万円で春募集と秋募集を行う予定であったが、大変好評をいただき開始2週間で予算の上限に達したため、秋募集はできないが、6月14日の申請期限までに申請された方には補正予算で対応するよう検討している。来年度以降は、本年度の申請状況を踏まえ、春と秋の2回の募集か、通年の募集ができるように検討する。





リベラル岩国
姫野敦子 議員



市民に喜ばれる図書館について

問 居心地のよい図書館の整備は、大事な市民サービス。先日、大阪府寝屋川市を視察し、既存の駅ビルを利用した利便性の高い快適な居場所の整備がなされ、レイアウト、機能、サービス内容に感心した。岩国駅西口に建設予定の再開発ビル内の図書館の機能や市民への配慮について問う。

答 これから建設予定の地上20階建ての複合

ビルの3、4階の「にぎわい創出施設」の中に「まちなかライブラリー機能」として、中央図書館麻里布分室と同規模の3万冊程度が収まる書架を設ける。効率的な管理や利用者の利便性向上、喫茶やI・Cタグシステム等の導入、午前9時から午後9時まで開館時間拡大なども予定している。駅前の立地を生かした特色ある図書館づくりを目指す。



ほんのおうさま
本の王様 ホンスキー

いわくにしとしょかん
岩国市図書館

マスコットキャラクター

イラスト/スギヤマ カナヨ

岩国基地と保険証の廃止と美和町太陽光発電

問 米軍基地問題で、市民の安心・安全を脅かされている。空母艦載機受入れの判断について問う。

答 平成29年5月、辺野古沖の工事現場の状況で判断した。

問 現在の港湾移設は明確な基地機能強化に当たらないか。

答 基地周辺住民の生活環境の悪化が機能強化の判断基準である。

問 騒音被害が拡大している問題について問う。

答 移駐後の年度別測定値を比較してみると、令和5年度の測定値は移駐後最大となっている。

問 健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化することによる不安や混乱への対応について問う。

答 マイナ保険証を保有していない方には「資格確認書」が交付され、引き続き診療が受けられる。

問 美和町の太陽光発電所建設の造成工事による水量と水質問題について問う。

答 今後、他地域と比べ明らかに水不足が生じるようであれば事業者と協議する。



日本共産党市議団
松田一志 議員



同志会
山本辰哉 議員



スケートボード場の新設場所と構想を問う

問 新設場所選定について前回の答弁では、「より便利で、安心・安全な場所への移転も視野に入れた検討が必要と考え、移転候補地選定のため複数箇所の基礎調査に着手している」といった内容であった。あれから半年が経過した現在、新設場所は決定しているものと確信している。その新設場所と選定に至った経緯及び基本構想を問う。

答 選定について、騒音苦情の可能性、駐車場、トイレ用地を含めた広さ等、一定の条件をクリアすると思われる市所有地等の周辺を現地確認した上で、基礎調査の対象として適切と思われる14か所を事前に抽出した。これらを評価した結果、岩国市日の出町3丁目の「日の出町テニスコート隣接地」が最も相応しかったため、同地を建設予定地として選定することとした。まずは、県内、近隣を含む既存のスケートボード場を取り巻く環境、整備に係る課題等を整理した上で、整備コンセプトや方向性を決めていきたい。



市民クラブ・草の根
重岡 邦昭 議員



出し支援をする。国は、海外資本の導入、国内企業の支援に積極的になっており、県も半導体企業や物流センター誘致に動き出している。しかし、県内の市町に、新たな大規模産業用地の開発計画はなく、誘致に対する受皿がないと聞く。こうした中、各市町も産業用地開発

産業用地造成に向けた協議の進展状況を聞く

問 熊本県菊陽町に世界最大手の台湾半導体企業TSMCが進出した。投資総額は約3兆円、経済産業省は約1兆2,000億円の補助金を

に取り組んでいるようだ。本市も積極的に産業用地造成に取り組む必要がある。他市町に後れを取れば、本市の経済力、労働力が流出する。ついては、本市の産業用地造成に向けた取組と県との協議の進展についてお聞きする。

答 岩国錦帯橋空港など、交通インフラが備わっている本市の優位性を最大限に生かし、企業誘致を力強く展開するためには、一定規模の産業用地を早期に確保することが重要である。現在、県と連携しながら、山口県産業団地整備方針に基づく第2期事業の候補地も含め、早期の産業用地の確保に向けて取り組んでいる。

保育士確保のための環境整備を！

問 県内他市では、市内の保育施設への就職に対する助成金や給付金等を行うことで、保育士確保に努めている。本市も岩国市で学んだ学生や多くの皆様から岩国市を選んでいただけるような、魅力ある支援策を設ける必要があると考えるが見解を問う。

答 保育士確保は喫緊の課題であるので、岩国短大、保育・幼稚園両協会とも協議を行いながら有効な方策について今後検討してまいりたい。

問 保育士の負担軽減のためにもICT導入は必要であると考えますが、現在の状況について問

う。

答 ICT導入に向けて、昨年度プロジェクトチームを立ち上げ議論を始めるとともに、一部機能を試験導



公明党議員団
野本 真由美 議員



入し、保護者、保育士双方から好評を得た。今年度はより具体的な検討を行うとともに昨年度好評であった「欠席連絡フォーム」を全園導入し運用開始している。今後も効果的な導入に向け検討を行っていく。



公明党議員団
奥江 徳成 議員



相談窓口設置に向けての取組を進めるべきと思うが、考えを伺う。

答 総合的な相談窓口があることは、市民の立場から見ればスムーズな支援につながり、市民満足度の向上にもつながるものと考えられる。市内

断らない相談支援体制の整備について

問 断らない総合的な相談窓口があれば、スムーズな支援につながるのではないかと思います。今ある制度を使いつつ断らない

の会議でも総合相談窓口を設置することが望ましいのではないかという意見もある一方、人員確保などの問題もあり、本市での実施は難しいのではないかという意見もある。例えば、既存の窓口で所管以外の相談も受けることができるような体制をつくる等、他部署や関係機関との連携を強化することで、総合的な相談窓口と同様な機能が果たせる体制づくりも一つの案であると考えている。



日本共産党市議団
長岡辰久 議員



重要土地等調査法、教科書採択について

問 約1万世帯、約2万人以上の市民が重要土地等調査法の対象になっているが、注視区域等に指定されていることや、どの

ような措置が講じられるかについて理解していないと思われる。再度、市報等で周知を求める。

答 内閣府のHPや、リーフレットの配布等で広報しているが、より分かりやすい方法を検討する。

問 中学歴史教科書採択で2回も連続で誤りが

あり、公平性・透明性に疑念が生じている。採択に関する全ての会議を公開することが必要だと思うが見解を問う。

答 公正・公平な採択に向けての協議及び審議を行うための環境、いわゆる静ひつな環境を確保するため、非公開で行う。



本市の次期地域防災計画の記述の見直しを

問 岩国市地域防災計画には、海溝型である南海トラフ地震のほか、大竹断層や中央構造線断層帯による内陸地震についての記述はあるが、山口県地域防災計画には、その「関係性」にも言及している。重要な点であり、次回見直しの際、液状化の記述の追加も検討すべきと考える。

答 本計画は、毎年、必要に応じて見直しを行っている。県では令和6年能登半島地震を受け、防災・減災対策のほか、地震や津波の被害想定の見直しを実施している。山口県地震・津波防災対策検討委員会における震度や液状化の危険度、津波

や被害想定の見直しを踏まえつつ、より実効性の高い岩国市地域防災計画の見直しを行っていきたい。



公明党議員団
桑田勝弘 議員



志政いわくに
丸茂郁生 議員



新岩国駅周辺の駐車場不足について

問 新岩国駅前広場改修事業によって、利便性の向上に期待しているが、一方で、新幹線の利用者からは、新幹線に乗ろうとしたが、駐車場がいっぱいで、新幹線に乗り遅れた。車を停めることができなかったのも、そのまま高速道路を使ったなど、駐車場がなくて困ったという数多くの声が上がっている。不安解消のため、新幹線を安心して利用できる環境整備は必要であることから、周辺の駐車場不

足の解消対策についての考えを問う。また、JR西日本に対して強く要望していくよう求める。

答 新岩国駅周辺を含めた駐車場不足については、新幹線を運行しているJR西日本において、新幹線を利用される方々のために対応していただく必要があり、「西日本旅客鉄道株式会社に対する要望」の中に、新たに「新岩国駅駐車場の確保」を追加して要望を行っている。駐車場不足の解消に向け、JR西日本と意見交換を行い、公共交通の利用促進の観点からも市として何ができるか検討していく。

委員会の活動報告

中山間地域振興施策調査特別委員会

【行政視察】

本特別委員会は、中山間地域の振興に資する取組を研究し、市政へ反映していくことを目的に先進地視察を実施しました。

まず、民間企業による廃校活用の調査のため、4月24日に埼玉県秩父郡小鹿野町で蜂蜜酒を醸造しているディアレットフィールド醸造所、4月25日に茨城県稲敷郡河内町にある株式会社トキタのチョウザメやトラフグの養殖所、茨城県笠間市にある株式会社メニコンのペット引取り施設である&HAUSを視察しました。26日には、「すぐやらなければならないもので、すぐやり得るものは、すぐにやります」の精神をモットーに、安心・安全な生活環境の実現に向けて日々、市民の様々な要望に応じている松戸市のすぐやる課の取組を学ばせていただきました。

本特別委員会は、この視察で得た知見を今後の委員会活動に生かしていきます。



【地域の皆様との意見交換会】

5月20日に玖西地域（午前：周東町と玖珂町、午後：由宇町）、24日に玖北地域（午前：錦町と美川町、午後：美和町と本郷町）の皆様と委員の意見交換会を開催し、出席された方全員から御意見や御要望を伺うことができました。高齢化や担い手不足、空き家や交通の問題など、課題は多岐にわたり、地域の現状を把握することができました。

また同日、岩国西商工会とやましる商工会の皆様との意見交換の場も設け、地域経済の状況やそれぞれの商工会の取組や課題についてお話を伺いました。

6月13日にはやましる商工会青年部錦支部の皆様と、7月8日には岩国西商工会女性部周東支部の皆様とも意見交換会を実施しました。生活環境や産業等について、出席された方の思いを書き出していただき、それを基に委員との意見交換を行いました。今後は岩国西商工会青年部玖珂支部及び由宇支部の皆様や柱島群島において意見交換会を実施する予定としております。

皆様から頂いた御意見等は、執行部と共有するとともに、本特別委員会としても市政に反映していけるよう、今後も委員会活動を進めていきます。



経済常任委員会

【岩国商工会議所との意見交換会】

本委員会は、令和6年5月21日に岩国商工会議所と意見交換会を実施しました。

新しく就任した豊島会頭をはじめ役員や各部会長の皆様と「地元企業の活力と経済の活性化について」「企業誘致と中小企業団地について」「産業振興の拠点施設の整備について」「MICE(マイス)振興と観光振興の推進について」の4項目を協議し、観光推進のための交通網や宿泊施設、飲食等の受入れ環境整備の必要性や市営住宅の活用など、議論を交わしました。

今後も、本委員会は商工会議所や関係機関と連携し、市内経済の活性化に向けて調査を進めていきます。



議会運営委員会

【兵庫県三田市の議会運営委員会が本市を視察】

兵庫県三田市の議会運営委員会が、令和6年4月16日に、「岩国市議会が立案・制定した政策条例の取組について」をテーマとして、本市の議会運営委員会を視察しました。

本市の委員が、「岩国市ふるさと産業振興条例」(平成21年9月30日公布)、「岩国市中山間地域振興施策基本条例」(平成25年6月24日公布)、「岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本条例」(平成28年9月30日公布)の3条例を紹介するとともに、三田市及び岩国市の委員会において、これらの政策条例の成果及び今後の活用につき、意見を交換しました。



岩国市議会が立案、制定した政策条例

岩国市ふるさと産業振興条例	
経緯	平成21年9月定例会で、議員が提案
成果	●市内産業を「ふるさと産業」と総称することにより、身近な産業に対する市民への意識づけを図る。 ●市内事業者の受注機会の確保及び地域の農林水産物の地産地消等を推進することによって「ふるさと産業」の育成・振興を図る。
岩国市中山間地域振興施策基本条例	
経緯	平成25年6月定例会で、中山間地域(地域核)振興施策調査特別委員会が提案。
成果	●中山間地域を担当する部署が創設され、担当職員が配置されるなど、市の体制が強化された。 ●条例により、毎年、中山間地域の振興に関する施策の実施状況等について議会に報告がなされることとなった。
岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本条例	
経緯	平成28年9月定例会で、経済常任委員会が提案。
成果	●市が取り組むべき基本的な施策・措置を規定。 ●執行部に中小企業等に関する施策の公表を毎年1回、義務付けている。 ●執行部に、中小企業者等の関係者との意見交換のための審議会等を年1回以上開催することを義務付けている。

常任委員会視察報告

経 済

5/14 奈良県生駒市 シティプロモーションについて
5/15 京都府京都市 オーバーツーリズムについて
5/16 大阪府八尾市 「みせるばやお」について

オーバーツーリズム対策の先進的な取組を学ぶ

観光地での混雑・渋滞、ごみのポイ捨てや地域住民が公共交通機関に乗れないなどの問題をオーバーツーリズムと呼び、その問題が顕在化している代表的な例として京都市が挙げられます。京都市は、観光地へのスマートごみ箱の設置や観光特急バスの新設、観光マナーの啓発など、他部署と連携してオーバーツーリズム対策を推進し、観光客の受入れ環境の整備に取り組んでおり、今後も全庁横断的な取組を進めていくこととしております。

本委員会は、今回の視察で得られた知見を、今後の委員会活動に生かしてまいります。



教育民生

5/7 愛知県岡崎市 校内フリースクールF組について
5/8 兵庫県西宮市 放課後キッズルーム事業について
5/8 橋の科学館 明石海峡大橋の展示について
5/9 大阪府寝屋川市 寝屋川市立中央図書館について

子供が安心して通うことのできる居場所づくり

岡崎市では、学校が子供に適応するという考えの下、校内にフリースクールを設置することで、児童・生徒の選択肢を増やし、不登校の増加率などを抑制しています。西宮市では、授業日の放課後と夏季休業中に、子供たちが安全かつ自由に遊ぶことができるよう、地域の大人などが見守る体制を整備することで、子供たちの居場所づくりを行っています。また、見守りを統括をするコーディネーターが授業の補助なども行うことで、教員の負担軽減の役割も担っていました。本委員会は、これらの取組から得られた知見を今後の委員会活動に生かしていきます。



各常任委員会では、他の自治体の先進的な取組を学び、市政に反映させるために行政視察を行っています。

建設

5/15 鳥取県境港市 市営住宅の長寿命化・省エネ改修について
5/16 鳥取県倉吉市 斜面对策事業について
5/17 岡山県倉敷市 「あちてらす倉敷」について

市営住宅の長寿命化改修とあわせた省エネ改修

境港市は、長寿命化改修に伴って省エネ改修を実施することにより、良質な市営住宅を確保しています。市営住宅が脱炭素・省エネ事業に率先して取り組むことで、民間賃貸住宅の性能向上に寄与するとともに、入居者の生活の質の向上に努めており、実際に入居者からも「体感で温かく(涼しく)感じる」、「電気使用量が20%程度改善できた」、「結露しなくなった」等の意見があり、CO₂の削減にも貢献しています。改修済みの市営住宅も視察させていただきました。本委員会は、この先進事業から得られた知見を、本市の住宅政策に反映していきます。



総務

5/14 神奈川県三浦市 「神奈川版ライドシェア」の実証実験について
5/15 東京都福生市 基地政策の取組について
5/15 東京都羽村市 AIコール「納税案内電話」について
市税等のクレジットカード定期納付について
5/16 防衛省 大本営地下壕跡の見学

「ライドシェア」実証実験やAIを市民サービスに活用した先進事例を視察

本委員会では、三浦市における交通手段不足の解消に向けた、一般ドライバーが乗客を有償で送迎する「ライドシェア」の実証実験、羽村市におけるAI(人工知能)を活用した納税案内電話及び市税のクレジットカード定期納付など、全国的にも珍しい先進的な取組について、行政視察を実施しました。視察前には、より多くの成果を得るため、調査事項に係る勉強会を開催し、本市における状況を把握した上で、視察に臨みました。

今回の視察によって得られた知見が本市における施策の充実に資するよう、情報提供を行うなど、活用を図ります。



いわくに市議会だよりの表紙写真を公募しています！

市民の皆様にも、より議会に興味を持ってもらうため、表紙写真の公募をしています。
発行予定日(6/1、8/15、11/15、2/15)の季節にあった風景や行事の様子を撮影した写真の御応募をお待ちしております。

詳しくはQRコードから公募要領を御覧いただくか、
議会事務局までお問合せください。

議会事務局 議事課 TEL 29-5193



これまでに掲載された作品です

9月定例会 8月27日(火)開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27 開会	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5 一般 質問	6 一般 質問	7
8	9 一般 質問	10	11	12 委員会 (経済)	13 委員会 (教民)	14
15	16	17 委員会 (建設)	18 委員会 (総務)	19	20	21
22	23	24	25 閉会	26	27	28

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください

議場に心が和む「生け花」



6月定例会の一般質問の間、「華道家元池坊岩国支部」の方々に生け花を展示していただきました。

編集後記

前号から、大幅にリニューアルした本紙ですが、今回は「表紙」と「議案の審議結果」のページを工夫しました。編集委員一同、市民の皆様にとって、「分かりやすく」「見やすく」をテーマとして、編集会議を重ねて検討しています。本紙を通して、市民の皆様に岩国市議会に少しでも関心を持っていただければ幸いです。

今後も皆様の御意見を基に、改善を重ねていきますので、ぜひとも御感想・御指摘等をお寄せください。

議会広報特別委員会

【議会広報特別委員会】

委員長:矢野 匡亮
副委員長:野本真由美
委員:川口 隆之
武田伊佐雄
長岡 辰久
広中 信夫
広中 英明
松川 卓司

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより「See議会」の音声データを希望される方は、議会事務局にお問合せください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行／岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5193 FAX(0827)21-1001
編集／議会広報特別委員会 印刷／フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>